



湖北

長浜市内の遊休農地で栽培した農産物を障害者らが加工・販売している合同会社TUNAGU（同市常喜町）は、同社の農福連携ブランド「CHITOTETO（ちとてと）」から新商品を発売した。その名も「花びら芋チップ」と「朝日にきらめく蓮のラスク」。

芋チップは、規格外品となつたサツマイモを有効利用。農機具の老朽化や知識・技術不足のために、収穫時などに折れてしまったサツマイモを薄切りにして焼いている。花びらのような軽い食感で、油で揚げていないので低カロリーとなっている。

【長浜通信部・長谷川隆広】



発売された花びら芋チップス

長浜

芋チップと蓮ラスク 農福連携ブランド新商品

遊びや体験で健康に 市がバイオ大でフェス

長浜

遊びや体験の要素を取り入れて、健康について楽しく学んでもらう「2025ながはま健康フェスティバル」が11月2日、長浜市田村町の長浜バイオ大で開かれた。長浜市とNPO法人「健康づくり0次クラブ」の主催。新型コロナ禍で中止が続き、2019年以来、6年ぶりの開催となった。健康チェックや相談、職業体験など約30の出展があり、多くの人でにぎわった。



子供に心肺蘇生法を教える市立長浜小

遊んだ。筋力測定コーナーでは、足の力（膝関節を伸ばす力）を測ることで筋肉年齢をチェック。お灸ワークショップもあり、参加者はヨモギからもぐさを作った後、そのもぐさでほろろ灸を体験した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

だじやれ新作披露 中島さんのライフワーク

だじやれをライフワークとする彦根市中藪町の中島健造さん（82）が10月31日、中老人福祉センター（同市開出今町）の秋イベントで新作を掲示。A3用紙にプリントして来場者に配布もした。

「コンセントささず電気がこんせんと」「大型クルーザーを盗まれた人はおおかた狂うさ」「一升瓶を返さない大酒飲みは一生びんぼう」「蝶のようにのろく飛べたら超能力だ」「死体と対話したいわ」な

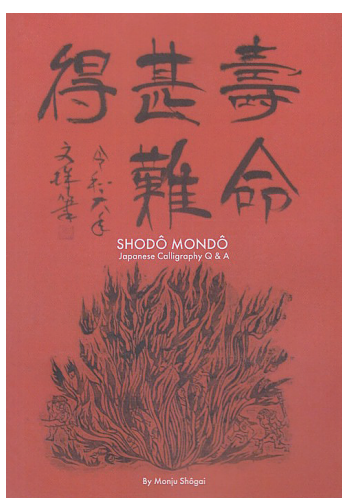
ど、今回もナンセンス全開。意外なそっくり言葉として「尿道結石」「女房欠席」「兄さんが満貫」「二酸化マングラン」▽「正会員」「背かゆいん」などを並べた。

一方、シリアスな新境地も見せた。「ラブレター数に捨てられ（恋に）敗れたの」「激戦地何を言おうと硫黄島（1×4）が死（4）」。

【彦根通信部・伊藤信司】

英語の書道入門書出版 本光寺の文珠松崖住職

彦根



彦根市八坂町の浄土真宗本願寺派紫雲山本光寺住職、文珠松崖（もんじゅしょうがい）さん（76）が英語の書道入門書「SHODŌ MONDŌ」II写真（A5判、80ページ）をオンライン出版から発行した。税別で2500円。

少年トム・ホワイットの質問に答える形で、筆、墨、すずり、紙などをカラー写真付き

で解説している。さらに「なぜ筆を垂直に持つとよいのでしょうか？」と尋ねられると、「漢字やかなを考えた場合、全方向に書かれているのが分かります」「もし紙に対して垂直に持てば、書道に含まれるすべての線を難なく書くことができます」と答えている。

文珠さんは福井県生まれで京都府立大卒。滋賀県立高校書道教諭として虎姫高彦根西高、長浜北星高で教えた。定年退職後は2016年から、県立大学留学生特別講座講師を務めている。

【彦根通信部・伊藤信司】